

# 高まる早急な復旧への声



## 平成18年10月4日 川内川激甚災害対策特別緊急事業が採択!

平成18年7月の豪雨の概要をはじめ、鶴田ダムの操作状況やこれまでの河川改修、ダムなどの河川整備の状況、また今回の豪雨前までの上流及び下流の整備の考え方について住民の皆さんと意見交換会を行い、さらに、今後の整備方針、豪雨への対策方針および整備内容について、その効果とデメリット等をご理解して頂くなど、幾度も調整を実施。そしてついに地域住民の皆さんの強い願いが実を結び、鹿児島県や宮崎県が管理する支川を含め、川内川流域の激特事業が平成18年10月に採択されました。あわせて防災・減災対策として、地域と連携したソフト対策の推進も行われることになりました。(21~22ページ参照)



湧水町意見交換会

## 激特事業採択を受け、地元説明会、川づくり検討会など、様々な取り組みがスタート



川内川水系水害に強い地域づくり委員会



宮之城地域川づくり検討会

## 平成18年12月からの本格的着手に先立ち 事業内容に関する、きめ細かな説明会等で 地域とのコンセンサスを形成

激特事業は平成18年12月の現地測量が本格的な事業着手となりましたが、地域住民の皆さんへの事前説明には十分時間をかけて、事業内容についてのご理解とご協力を得ることができるようきめ細かく事業説明会を実施しました。



薩摩川内市楠元地区  
(平成19年8月24日)



薩摩川内市五社下地区  
(平成19年8月1日)



伊佐市堂崎地区  
(平成19年8月30日)



えびの市向江地区  
(平成19年9月28日)



さつま町虎居地区  
(平成18年10月30日)



さつま町山崎・二渡地区  
(平成19年8月31日)



さつま町山崎地区  
(平成19年10月3日)



薩摩川内市司野地区  
(平成19年7月31日)

### 推込分水路模型実験

分水路や河道掘削等による水位低減効果の検証と虎居地区の住民の方々にその効果を理解して頂くことを目的として、平成19年9月、九州大学において住民参加による公開模型実験を行いました。



### 委員会等の設置

名称	目的など
宮之城地域川づくり検討会	激特事業の促進と町の再構築に資する河川整備を目指し、関係者が共通の認識を持つことを目的とする。
曾木の滝分水路景観検討会	曾木の滝の良好な景観を保全するため事業の景観形成方針及び景観に係わる設計等について助言する。
川内川水系水害に強い地域づくり委員会	実践的に取り組むべき防災・減災対策について、自助・共助・公助の観点から議論し、関係機関に助言する。
川内川激特事業環境影響検討委員会	激特事業箇所8箇所において、自然環境に配慮した河川事業改修を行うために、配慮事項の確認、助言を行う。



曾木の滝分水路景観検討会